



広報 No.31

2016年6月

夏号



飛騨高原の早春・あなたとわたしと花たちと・落葉松

2016年5月28日クレオ大阪南

第三回ひら混ジョイ・コーラスを終えて

団長 大森利治



いよいよ梅雨の季節となりました。昔は、雨が降らねば雨乞いをしたり、降ったら降ったで洪水に見舞われたりと、この時期の雨にはあまり良い記憶はありません。「五月雨を集めてはやし最上川」なんて句は一步間違えば大洪水ものですよ。一方、先日の“落葉松”に出てくる雨はロマンチックで心に残ります。日本人の琴線に触れる名歌だと思います。

今年のジョイ・コーラスは、初めて音響効果の良い会場での演奏会でしたが、皆さんの手応えは如何でしたか。雨にもかかわらず満席のお客様の中での演奏会だったので、さぞや満足されたのではないのでしょうか。どうぞ後日その出来栄えをDVDでご確認下さいますように。お客様からも沢山の感謝の言葉を頂いております。ところで、皆さん「ジョイ・コーラス」と命名した意図をご理解いただいているのでしょうか。それは、参加者みんなが「歌って、聴いて、そして、見て楽しもう」という気持ちを込めたものです。次年度は、まだまだ未熟な「見て楽しもう」に力を入れて選曲、振り付け等に臨みたいと思います。どうぞみなさんの活発なアイデアの提供をお待ちしております。



ローレライ・野ばら・ウィーン我が夢のまち

先生方のソロ演奏は素晴らしく、お客さまもうっとり聴きほれていらっしゃいました。

茶話会での先生方ご意見

藤田先生： 皆さんお疲れさまでした。ひら混の人は本番に強いです。昨夜とは別人のようでした。輸血されましたか？それぐらいの違いがありました。昨夜メロディーの大切さを何度も言ったことがよかったんだと思います。本番が始まり、皆さんがノリノリで歌っていったので、私も「これは大丈夫！」と感じました。ステージサイズも私達にぴったり、お客さまもぴったり満席で大変よかったです。今回は難しい曲とやさしい曲、男声合唱の時代劇の歌を最後にもってきたのも成功の秘訣だったようです。お客さんにも楽しんで帰っていただけました。今後も頑張っていきましょう！



からたちの花・
宵待草・献呈

竹村先生： 皆さんお疲れさまでした。よく頑張られましたね！本番では何倍かの力を出しきられたかと思います。昨日のレッスンでは「どうしようかしら・・・」。しかし本番では元気もあつたし、楽しく、表情も良かったと思います。とにかく藤田先生が一生懸命振ってくださり、どうしたらみんなが出



亜麻色の髪の乙女
月の光



埴生の宿・丹澤・あづまやの・鴉

だしを上手く出ることが出来るか、必死で頑張ってくださいました。それで皆さんなんとかうまく歌えたと思うのですが、もうちょっとだけ自立して歌って頂ければと願っています。響きを大切に練習が普段できませんが、耳を鍛えて他の人の歌ももっと聴いて、これからも頑張りましょう。



かごかき・海の声

中塚先生： 皆さんおめでとうございます。自分の出番後はずっと観客席にいました。皆さん生き生きとされておられました。普段の練習では感じることのできない音の響きを感じながら、上手に歌っておられました。特に感じたのは、時代劇の歌からお客さんも乗ってこられて、最後の「365日の紙飛行機」を会場の皆さんと歌われたのは大変よかったです。楽しかったです。



初恋

薬谷先生： 皆さんの練習を何度か聴かせてもらいましたが、その度に変わるんですね合唱が。本番の司会進行をどうもっていけばいいかと考えました。きょうは音響効果のいいホールで皆さん楽しんで歌っておられ、お客さんも楽しまれて帰られました。私も1曲歌わせていただきました。これからも歌の響きを忘れないようにして歌っていただけたらと思います。またヴォイス練習のときにお話していくと思いますが、よろしくお祈りします。



銭形平次・あゝ人生に涙あり

東京からのお客様： 私は日頃から合唱他歌のコンサートを聴きによく行きます。3月の旅行で、同じツアーに参加されていたHさんから、今回のコンサートのチラシを見せて頂き、本日日帰りで参りました。合唱、プロの先生方の演奏、三味線まで入ったプログラムは大変楽しく感激しました。特に信時潔さんの曲は珍しく、私（79歳）のような者にとっては心に響きました。クリスマスコンサートにも寄せて頂きたいと思っています。

熊本震災募金活動： お客様と団員からの募金が総額 60,878 円になりました。全額を平野区役所から社会福祉協議会を通じて中央協同募金会へ、そこから被災地へ送られます。ご協力ありがとうございました。